

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

# TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

## 東京都感染症週報

2014年第24週  
(6月9日～6月15日)

- \* 2014年6月18日現在の情報により作成しています。  
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。  
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- \* 今週は月報告(2014年5月)の疾患及び感染症豆知識  
「性感染症ネットワーク」も掲載しています。

平成26(2014)年6月19日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター  
健康危機管理情報課

電話 : 03-3363-3213(直通)  
FAX : 03-5332-7365  
e-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

## 全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年24週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	87	96	88	81	1,680	413	10,992
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢				1	16	2	46
	腸管出血性大腸菌感染症	7	5	4	12	69	70	558
	腸チフス					9	1	20
	パラチフス	1				3		6
四類	E型肝炎	1		2		16	1	67
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1			2	26	8	362
	エキノコックス症							5
	黄熱							
	オウム病					2		6
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							1
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							1
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3						2	19
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					2		5
	つつが虫病	1				4	8	85
デング熱		3	1	1	23	1	70	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱						4	45	
日本脳炎								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症					2	1	5
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア		1			11	1	26
	野兔病							
	ライム病							1
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	1		3	1	42	19	432
	レプトスピラ症					1		6
	ロッキー山紅斑熱							
2014/6/18集計								

\*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

\*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

\*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

### ( 全数把握対象疾患のコメント・一類～四類 )

#### 〈二類感染症〉

**結核 81件** 肺結核 46件、その他の結核 10件、肺結核及びその他の結核 2件、無症状病原体保有者 20件、疑似症 3件、年齢は10代 1件、20代 12件、30代 6件、40代 11件、50代 12件、60代 11件、70代 15件、80代 10件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 72件、中国 3件、ネパール 2件、フィリピン 1件、ベトナム 1件、国内又は韓国 1件、不明 1件であった。

#### 〈三類感染症〉

**細菌性赤痢 1件** 患者、菌種はソンネ、年齢は40代、推定感染地はトルクメニスタン又はウズベキスタン、推定感染経路は経口感染であった。

**腸管出血性大腸菌感染症 12件** 患者 10件(うちHUS発症 1件)、無症状病原体保有者 2件、血清型・毒素型はO111 VT1・VT2 2件、O157 VT1・VT2 9件、O157 VT2 1件、年齢は10代 6件、20代 4件、30代 1件、50代 1件、推定感染地は国内 12件、推定感染経路は経口感染 5件(生レバー 1件、ユッケ 1件、食品不明 3件)、不明 7件であった。

#### 〈四類感染症〉

**A型肝炎 2件** 患者 2件、年齢は10代 1件、30代 1件、推定感染地はペルー 1件、国内又はフィリピン 1件、推定感染経路は経口感染 2件(ホタテ 1件、食品不明 1件)、A型肝炎予防接種歴は接種なし 2件であった。

**デング熱 1件** 患者、年齢は30代、推定感染地はインドネシアであった。

**レジオネラ症 1件** 肺炎型、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

## 全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年24週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		21週	22週	23週	24週	年累計	24週	年累計
五 類 (全 数 届 出 )	アメーバ赤痢	6	3	6	5	96	19	484
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	2		1	1	21	2	114
	急性脳炎 *1				1	18	4	224
	クリプトスポリジウム症					4		9
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	4	3	74
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	1		24	5	120
	後天性免疫不全症候群	11	12	11	14	214	18	632
	ジアルジア症					7	2	32
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2	2	2	1		14	2	98
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2					3	2	19
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	12	6	6	4	123	23	1,011
	先天性風しん症候群					3		8
	梅毒	15	14	10	9	205	28	671
	破傷風					5	2	48
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3		24
	風しん	2	1			58	9	220
麻しん	4	2	1	4	79	7	375	
2014/6/18集計								

\*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

\*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

### （全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

**アメーバ赤痢 5件** 病型は腸管 5件、年齢は30代 1件、40代 1件、50代 3件、推定感染地は国内 2件、タイ 1件、米国 1件、タンザニア 1件、推定感染経路は経口感染 2件(海外の屋台等での喫食 1件、不明 1件)、不明 3件であった。

**ウイルス性肝炎 1件** B型、年齢は10代、推定感染地は国内、推定感染経路は性的接触、B型肝炎予防接種歴は接種なしであった。

**急性脳炎 1件** 病原体はヒトヘルペスウイルス6型、年齢は5歳未満、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染又は経口感染であった。

**クロイツフェルト・ヤコブ病 1件** 病型は古典型CJD、年齢は70代であった。

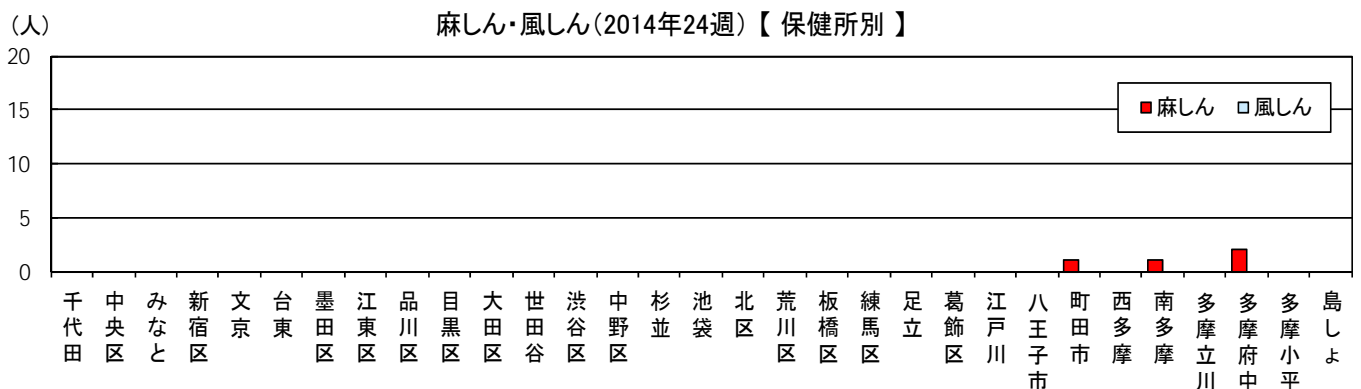
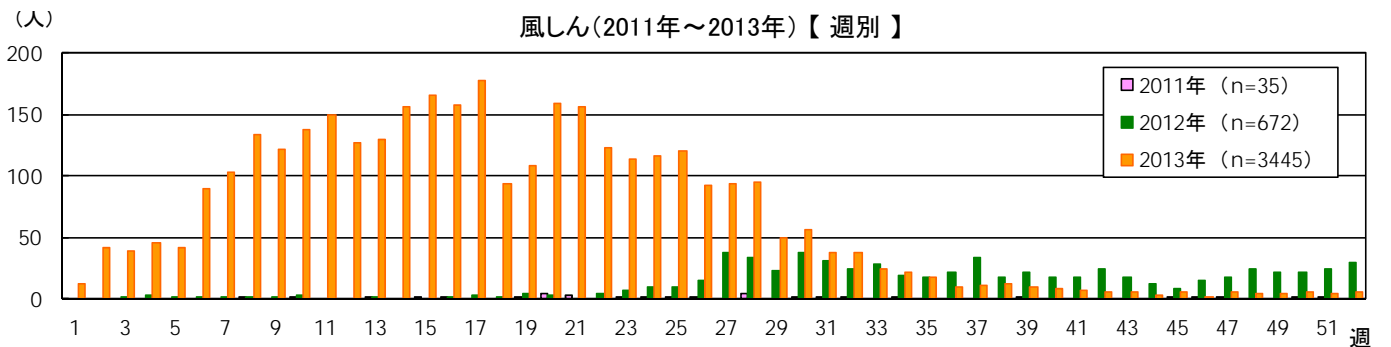
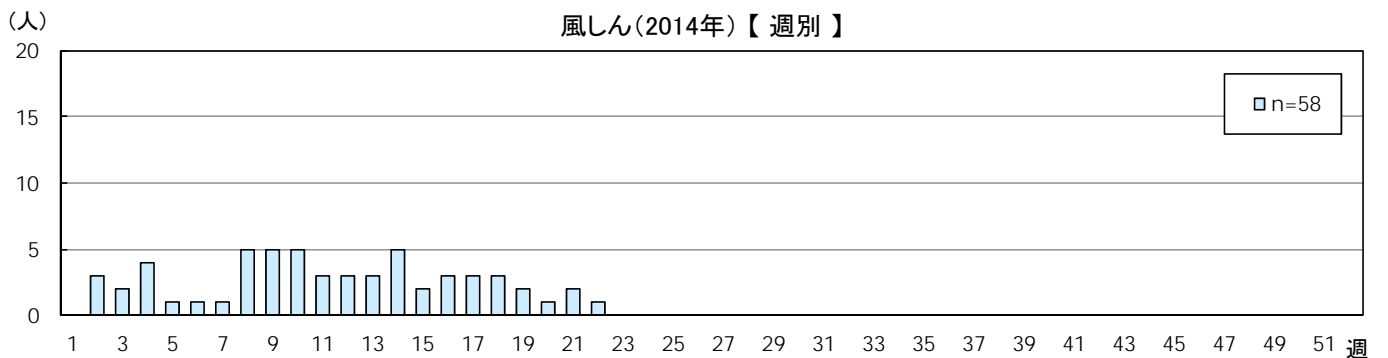
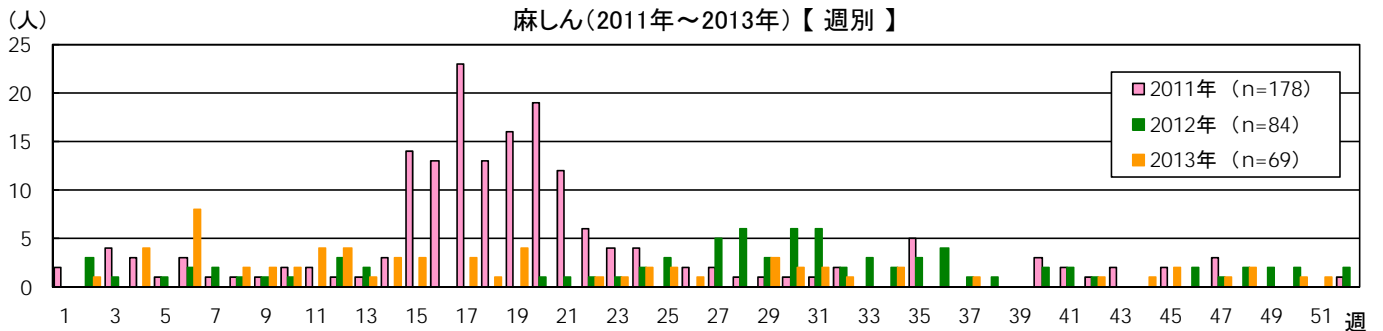
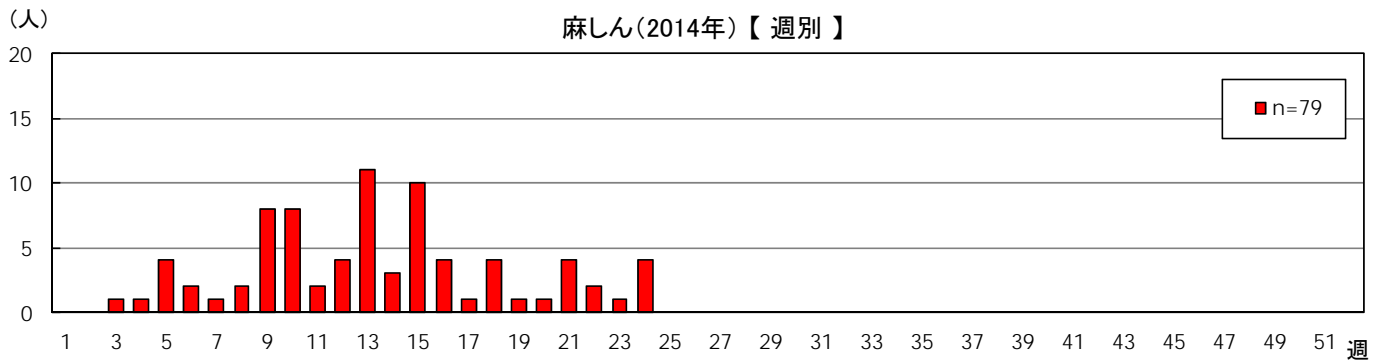
**後天性免疫不全症候群 14件** AIDS 3件、無症候キャリア 9件、その他 2件、AIDS患者の年齢は30代 1件、40代 1件、50代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 4件、30代 2件、40代 3件、50代 2件、推定感染地は国内 12件、国内又はベトナム 1件、国内又は米国 1件、推定感染経路は性的接触 13件(同性間 10件、異性間 2件、両性間 1件)、不明 1件であった。

**侵襲性肺炎球菌感染症 4件** 血清型検査未実施 4件、年齢は5歳未満 2件、30代 2件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1件、不明 3件、肺炎球菌ワクチン接種歴は7価3回接種済み 1件、接種歴不明 1件、接種なし 2件であった。

**梅毒 9件** 早期顕症梅毒Ⅰ期 2件、早期顕症梅毒Ⅱ期 2件、無症候梅毒 5件、年齢は20代 2件、30代 2件、40代 4件、70代 1件、推定感染地は国内 8件、タイ 1件、推定感染経路は性的接触 9件(同性間 5件、異性間 4件)であった。

**麻しん 4件** 検査診断例 3件(遺伝子型D8 2件、検査中1件)、修飾麻しん 1件(遺伝子型D8)、年齢は10代 4件、推定感染地は国内 4件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、不明 1件、麻しん含有ワクチン2回接種済み 1件、接種なし 3件であった。届け出があった4件のうち、2件は第23週に報告された患者の家族、2件は第21週に報告された患者の同一校生であった。

# 全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



## 定点把握対象疾患 報告数 2014年24週

定点種別	対象疾患	2014年					報告医療機関数	定点医療機関数
		21週	22週	23週	24週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	16	21	20	16	0.06	264	264
	咽頭結膜熱	144	188	233	237	0.90		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	893	961	778	806	3.05		
	感染性胃腸炎	1,933	1,801	1,627	1,680	6.36		
	水痘	324	307	370	279	1.06		
	手足口病	61	59	69	80	0.30		
	伝染性紅斑	98	103	90	105	0.40		
	突発性発しん	195	221	246	236	0.89		
	百日咳		3	2	4	0.02		
	ヘルパンギーナ	29	54	108	227	0.86		
	流行性耳下腺炎	58	61	94	72	0.27		
	川崎病 *1	4	8	3	2	0.01		
	不明発しん症 *1	19	26	21	35	0.13		
インフルエンザ	インフルエンザ *2	49	37	8	14	0.03	411	419
眼科	急性出血性結膜炎						39	39
	流行性角結膜炎	22	26	15	17	0.44		
基幹	細菌性髄膜炎 *3	2					25	25
	無菌性髄膜炎	2	1	3	1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	3	2	5	3	0.12		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)				2	0.08		
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	6	5		2	0.08		
	インフルエンザ入院		1					

2014/6/18集計

\*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

\*2 鳥インフルエンザを除く。

\*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

\*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

### (今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、昨年並みの状態が続いている。
- ・ 突発性発しんの定点当たり報告数は減少したが、昨年を上回る状態が続いている。
- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加し、昨年同時期の報告数を超えた。
- ・ 性器クラミジア感染症、淋菌感染症、膣トリコモナス症、梅毒様疾患は、女性の定点当たり報告数に増加が見られた。

### (定点医療機関からのコメント)

#### 墨田区

- ・ アデノウイルス感染症 1名、ヒトメタニューモウイルス感染症 1名、突発性発しん 2名
- ・ 咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 各2名

#### 目黒区

- ・ 感染性胃腸炎 1名 (Yersinia Enterocolitica 検出)

#### 大田区

- ・ ここ数週間、近所の幼稚園等で水痘流行中。

#### 世田谷

- ・ アデノウイルス感染症 3名
- ・ アデノウイルス 5名
- ・ アデノウイルス 1名
- ・ アデノウイルス 3名
- ・ ヒトメタニューモウイルス 4名

#### 池袋

- ・ ヒトメタニューモウイルス 3名

#### 板橋区

- ・ カンピロバクター 2名、病原性大腸菌 O55 1名、ロタウイルス抗原陽性 1名 (ロタウイルスワクチン未接種)

#### 荒川区

- ・ アデノウイルス咽頭炎 9名、ヒトメタニューモウイルス 1名、アデノウイルス腸炎 2名
- ・ 病原性大腸菌 O25、O18 各1名、カンピロバクター 1名
- ・ 病原性大腸菌 O1、O25 各1名

#### 葛飾区

- ・ アデノウイルス扁桃炎 2名
- ・ アデノウイルス扁桃炎 1名

#### 八王子市

- ・ アデノウイルス咽頭炎 1名
- ・ アデノウイルス 4名
- ・ アデノウイルス咽頭炎 9名、アデノウイルス胃腸炎 2名、ヒトメタニューモウイルス感染症 1名

#### 南多摩

- ・ ヒトメタニューモウイルス 7名

#### 多摩小平

- ・ 病原性大腸菌 16名、アデノウイルス腸炎 1名、ヒトメタニューモウイルス 7名、マイコプラズマ肺炎 1名

## 定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年24週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	4		1	25	2			8		1	
6～11か月	2	27	4	135	13	8		80		19	
1歳	2	75	20	220	37	27	4	125		73	
2歳	4	38	34	151	37	20	8	19		42	2
3歳		37	99	170	59	8	14	4	1	41	10
4歳	3	23	140	140	38	6	17			19	10
5歳		11	107	142	36	5	16			13	16
6歳		7	103	105	19	4	18			2	9
7歳		3	93	88	12		10			4	7
8歳			54	60	12		8		1	2	9
9歳	1	3	37	71	3		1			3	2
10～14歳		5	73	180	10		6			4	7
15～19歳			6	35							
20～29歳		8	35	158	1	2	3		2	4	
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	16	237	806	1,680	279	80	105	236	4	227	72
先週比	-4	4	28	53	-91	11	15	-10	2	119	-22

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月		4					1				
6～11か月		4	2								
1歳	1	6	3					1		2	
2歳		7	1								
3歳			2		1						
4歳	1	5	2		1						
5歳		2						1			
6歳		1									
7歳		1			1						
8歳			1		1						
9歳		1									
10～14歳		4			1						
15～19歳											
20～29歳			2		1				1		
30～39歳					4						
40～49歳					4						
50～59歳					1						
60～69歳			1		1			1	1		
70～79歳					1						
80歳以上											
合計	2	35	14		17		1	3	2	2	
先週比	-1	14	6		2		-2	-2	2	2	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。  
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年24週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田		0.33		2.33	0.67	0.33					
中央区		1.00	1.00	1.67	0.67	0.33		0.67			
みなと	0.50	1.50	1.83	4.50		0.17	0.33	1.33	0.33	0.33	0.17
新宿区	0.25	0.63	2.00	3.25	0.25			0.25		0.50	1.63
文京		0.25	1.75	3.00	0.25		0.25	0.75		0.75	0.25
台東		1.00	0.75	8.50	0.75	0.50	0.75	1.00			
墨田区		1.40	2.00	4.00	0.20	0.20		1.00		0.40	0.60
江東区		0.67	2.78	14.11	2.33	0.44		1.22		0.67	0.56
品川区		1.38	2.25	5.75	0.63	0.13	0.50	0.63		0.25	0.13
目黒区			2.60	5.40	0.40	0.80	1.00	1.00		3.20	
大田区		2.69	2.77	7.31	3.77	0.08	0.08	0.77		0.38	0.08
世田谷		0.69	3.38	7.13	1.50		1.13	1.00		0.75	0.25
渋谷区	0.50	0.25	0.50	4.00	0.25	0.50	0.25	0.50			
中野区		2.43	2.29	6.14	0.57	0.14	0.14	1.00		0.14	0.29
杉並		0.30	1.50	6.90	0.10	0.20		0.40	0.10		
池袋	0.40	0.80	1.60	2.80	0.40	0.20					
北区		0.43	1.57	6.86	0.71		0.29	1.14		0.29	0.43
荒川区		2.25	3.25	7.00				2.00			0.75
板橋区		0.30	1.20	2.60	0.20	0.60	0.20	0.60		0.20	0.30
練馬区		0.85	4.69	5.46	1.92	0.08	0.23	1.15		0.85	0.15
足立		1.00	3.62	7.08	1.38	0.23	0.15	1.38		0.69	0.54
葛飾区		0.50	2.25	6.38	0.38	0.25	0.38	0.75		0.50	
江戸川	0.08	0.50	2.92	6.58	1.58	0.17	0.50	0.67		4.92	0.58
八王子市	0.36	1.00	9.27	10.73	0.64	0.09	1.36	1.73	0.09	0.36	
町田市		0.13	5.00	11.63	1.75	3.88	0.25	0.88		4.00	0.13
西多摩		0.63	1.50	4.50	0.25	0.13	0.50	0.38		0.88	0.13
南多摩		0.44	4.89	6.78	2.00	0.22		1.67		1.78	0.78
多摩立川		0.14	3.36	3.79	0.86		0.07	1.00		0.14	0.14
多摩府中	0.05	0.67	3.43	7.71	0.76	0.24	0.62	0.57		0.38	0.19
多摩小平	0.07	2.20	3.53	5.33	1.00	0.27	1.07	0.87		1.20	0.07
島しょ			2.00		3.00						
東京都	0.06	0.90	3.05	6.36	1.06	0.30	0.40	0.89	0.02	0.86	0.27



	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		0.33									
中央区			0.20		5.00						
みなと								1.00	2.00		
新宿区		0.13	0.08		0.50			0.50			
文京					3.00						
台東											
墨田区		0.20									
江東区											
品川区											
目黒区											
大田区		0.08									
世田谷		0.19	0.04				0.50				
渋谷区					2.00					1.00	
中野区	0.14										
杉並											
池袋											
北区		0.29									
荒川区											
板橋区		0.30								1.00	
練馬区	0.08	0.23	0.56								
足立			0.05		0.50						
葛飾区		0.25						1.00			
江戸川											
八王子市		0.36			1.00						
町田市		0.13									
西多摩											
南多摩		0.11									
多摩立川			0.05								
多摩府中		0.10									
多摩小平		0.67			1.50						
島しょ											

東京都	0.01	0.13	0.03		0.44		0.04	0.12	0.08	0.08	
-----	------	------	------	--	------	--	------	------	------	------	--

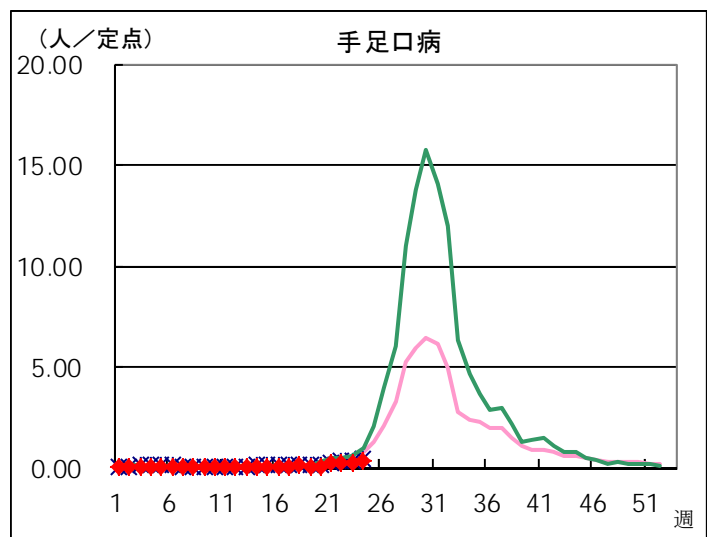
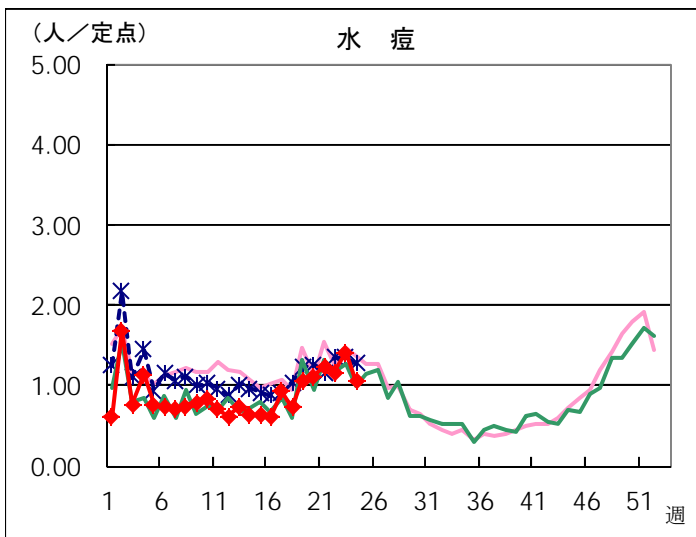
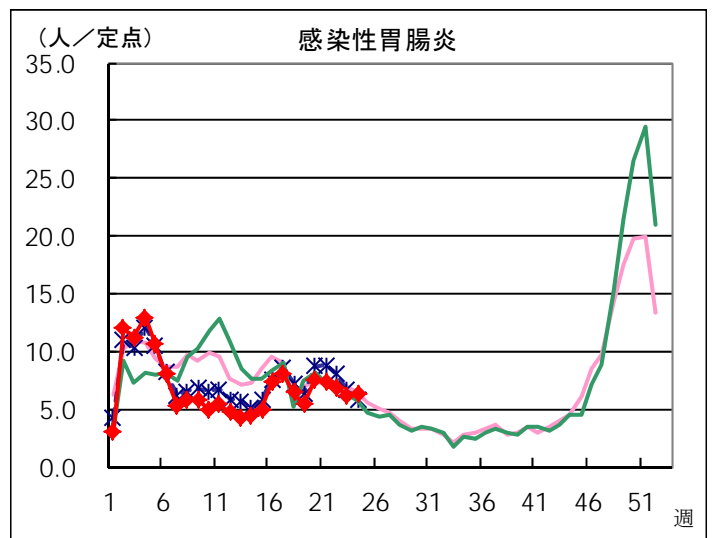
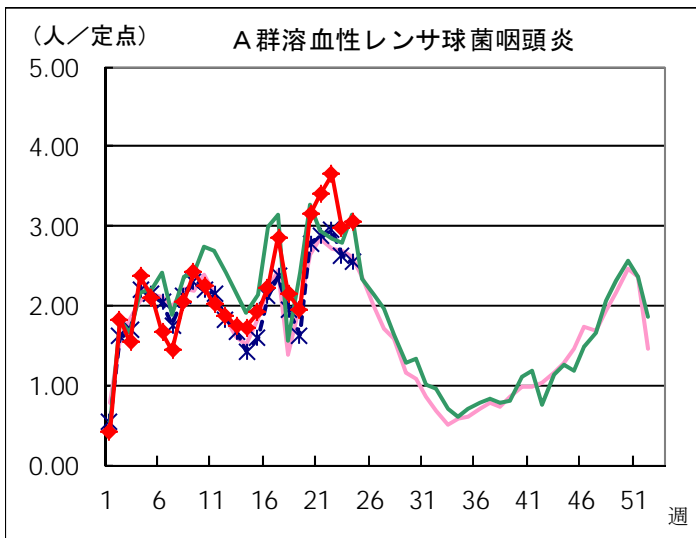
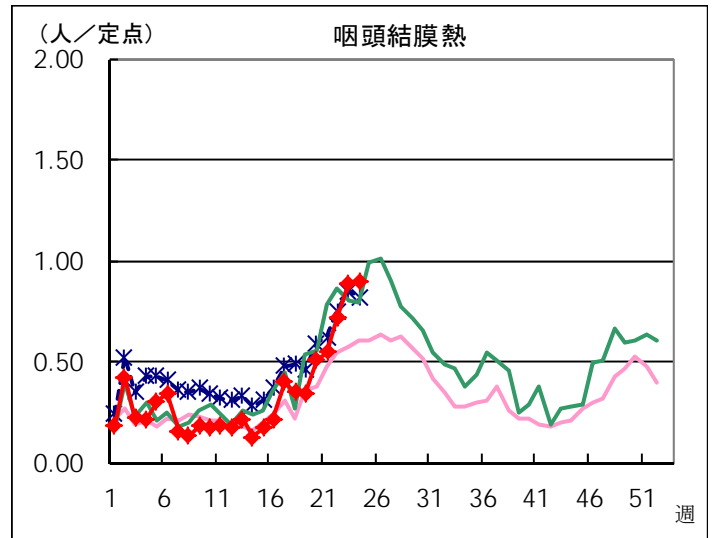
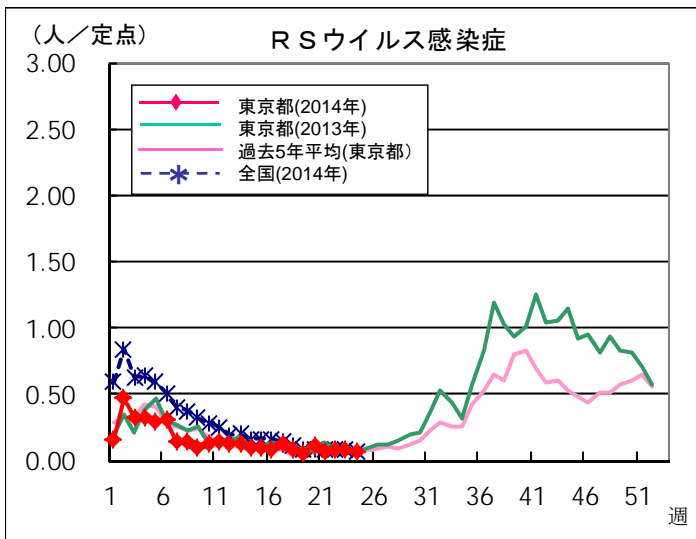
## 定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年24週

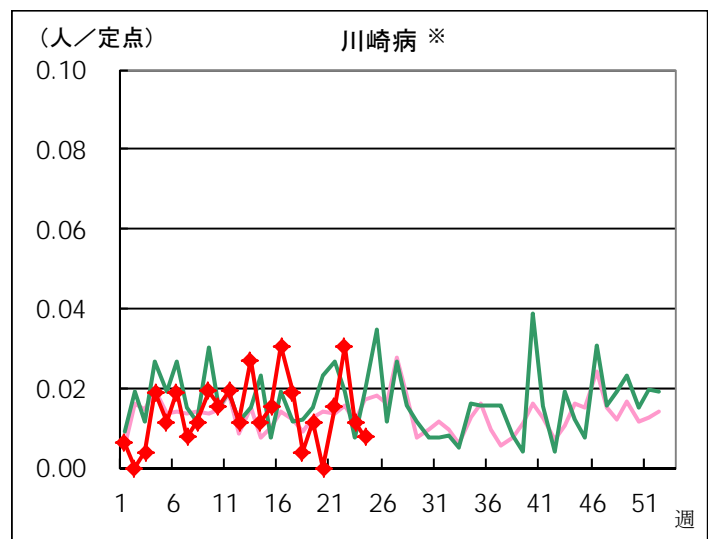
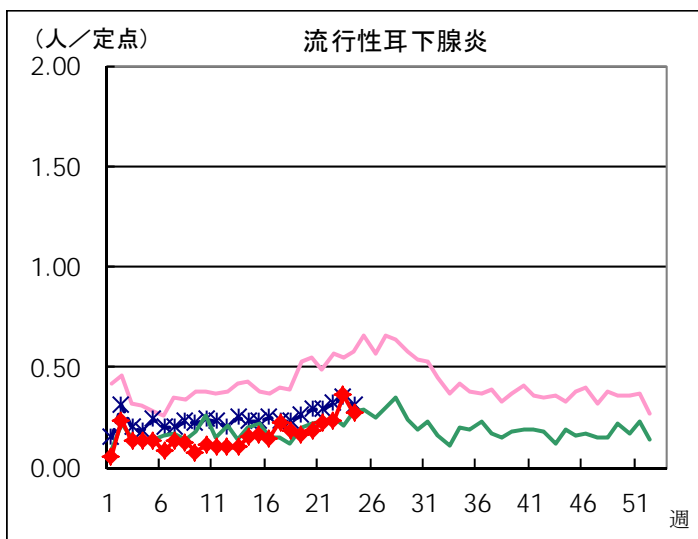
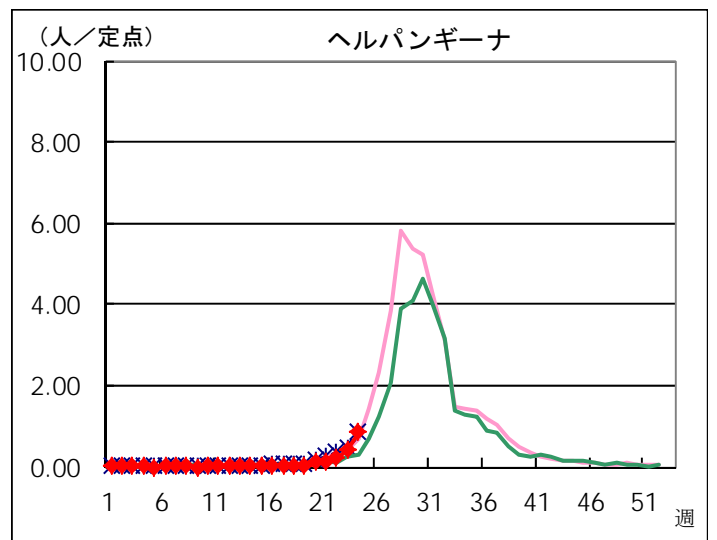
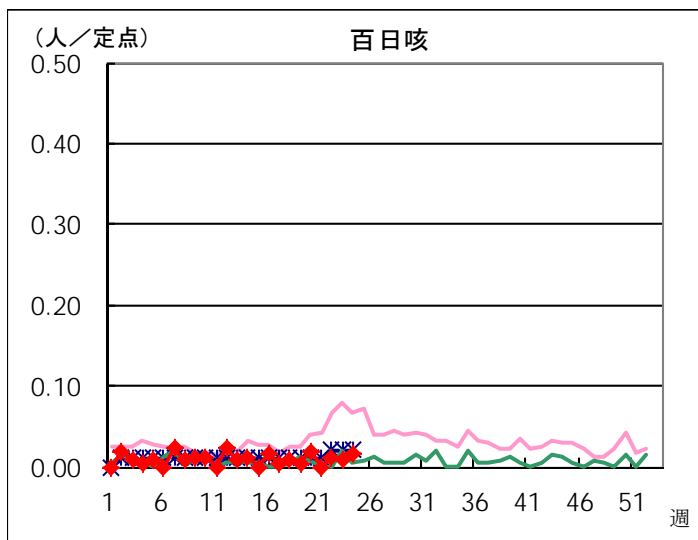
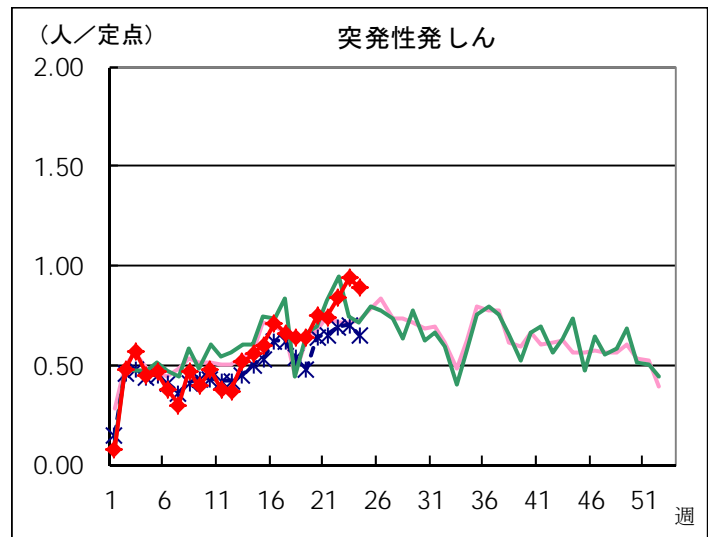
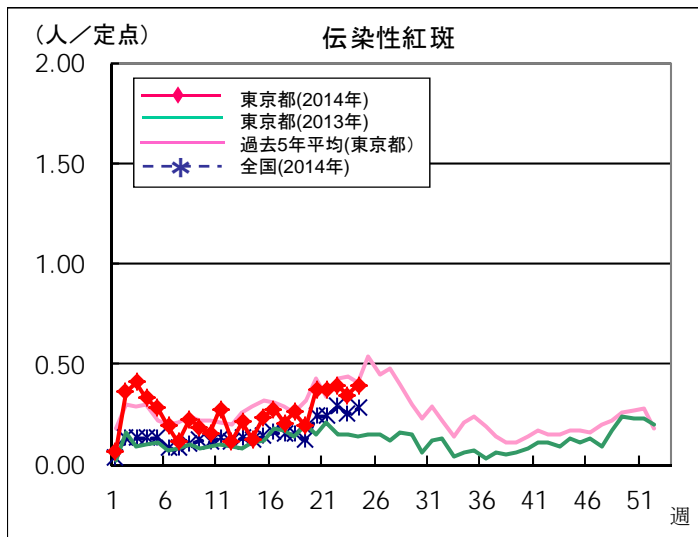
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田		1		7	2	1					
中央区		3	3	5	2	1		2			
みなと	3	9	11	27		1	2	8	2	2	1
新宿区	2	5	16	26	2			2		4	13
文京		1	7	12	1		1	3		3	1
台東		4	3	34	3	2	3	4			
墨田区		7	10	20	1	1		5		2	3
江東区		6	25	127	21	4		11		6	5
品川区		11	18	46	5	1	4	5		2	1
目黒区			13	27	2	4	5	5		16	
大田区		35	36	95	49	1	1	10		5	1
世田谷		11	54	114	24		18	16		12	4
渋谷区	2	1	2	16	1	2	1	2			
中野区		17	16	43	4	1	1	7		1	2
杉並		3	15	69	1	2		4	1		
池袋	2	4	8	14	2	1					
北区		3	11	48	5		2	8		2	3
荒川区		9	13	28				8			3
板橋区		3	12	26	2	6	2	6		2	3
練馬区		11	61	71	25	1	3	15		11	2
足立		13	47	92	18	3	2	18		9	7
葛飾区		4	18	51	3	2	3	6		4	
江戸川	1	6	35	79	19	2	6	8		59	7
八王子市	4	11	102	118	7	1	15	19	1	4	
町田市		1	40	93	14	31	2	7		32	1
西多摩		5	12	36	2	1	4	3		7	1
南多摩		4	44	61	18	2		15		16	7
多摩立川		2	47	53	12		1	14		2	2
多摩府中	1	14	72	162	16	5	13	12		8	4
多摩小平	1	33	53	80	15	4	16	13		18	1
島しょ			2		3						
東京都合計	16	237	806	1,680	279	80	105	236	4	227	72

	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田		1									
中央区			1		5						
みなと								1	2		
新宿区		1	1		1			1			
文京					3						
台東											
墨田区		1									
江東区											
品川区											
目黒区											
大田区		1									
世田谷		3	1				1				
渋谷区					2					1	
中野区	1										
杉並											
池袋											
北区		2									
荒川区											
板橋区		3								1	
練馬区	1	3	9								
足立			1		1						
葛飾区		2						1			
江戸川											
八王子市		4			2						
町田市		1									
西多摩											
南多摩		1									
多摩立川			1								
多摩府中		2									
多摩小平		10			3						
島しょ											
東京都合計	2	35	14		17		1	3	2	2	

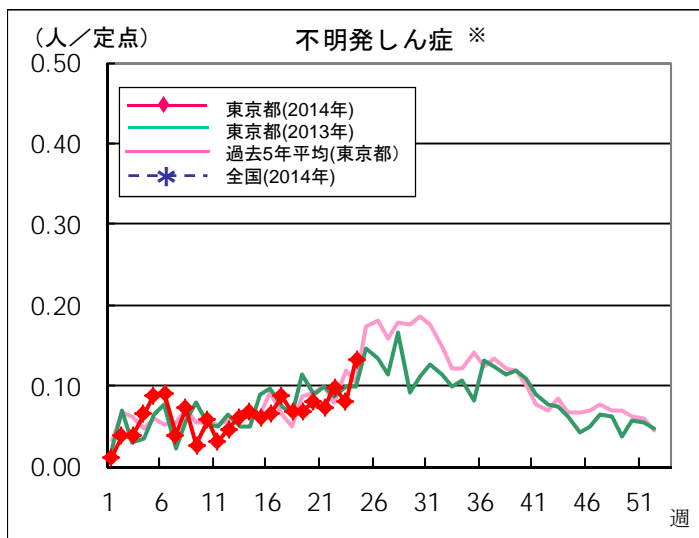
# 定点把握対象疾患 週別報告数(2014年24週 現在)

## ◆ 小児科定点



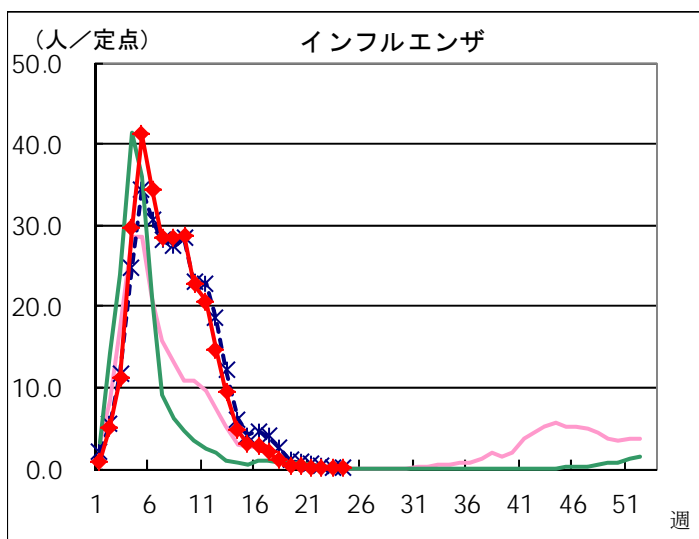


※ 東京都独自対象疾患

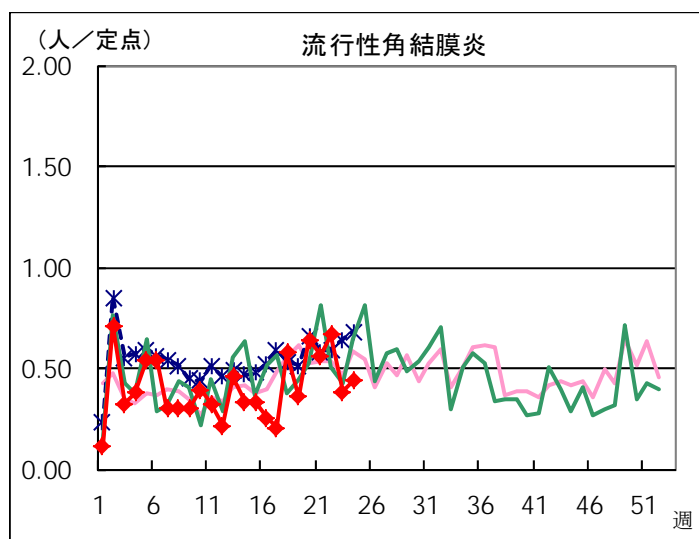
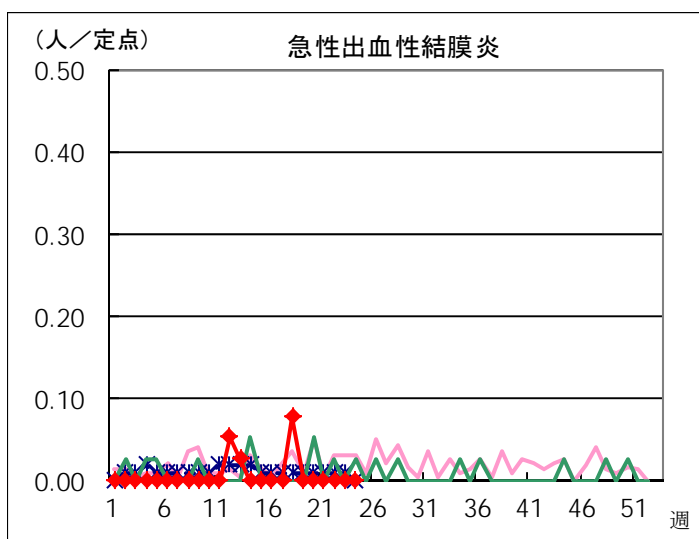


※ 東京都独自対象疾患

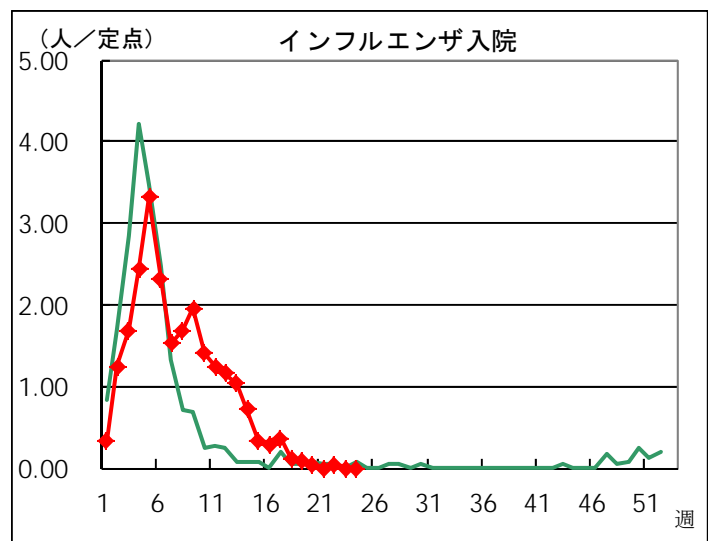
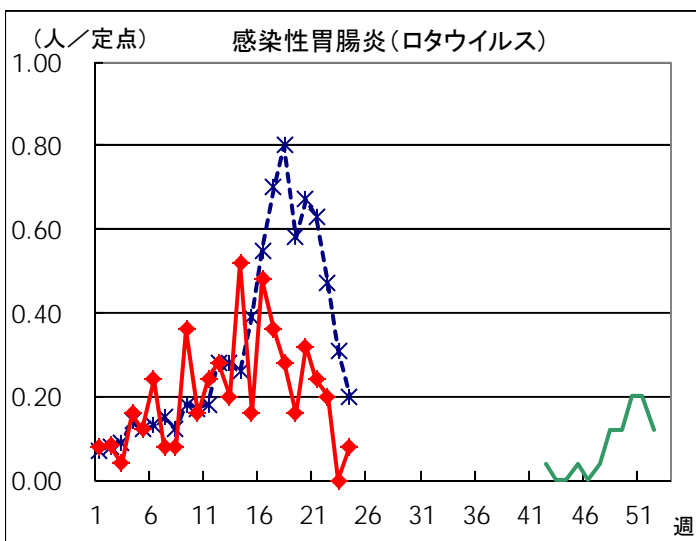
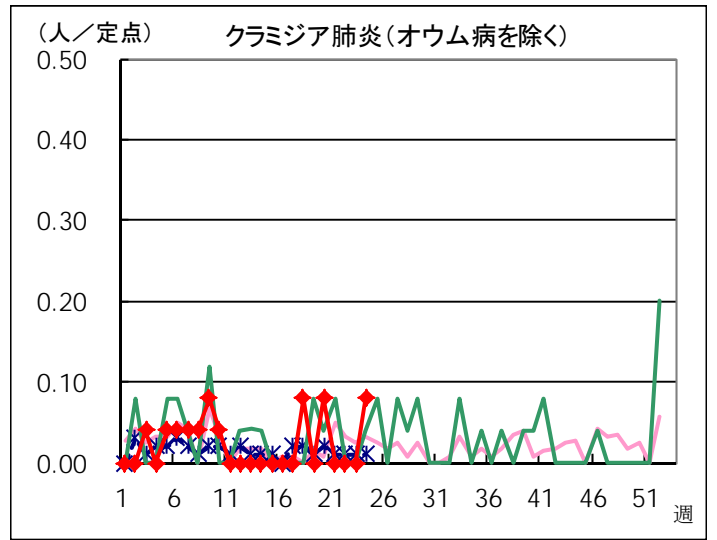
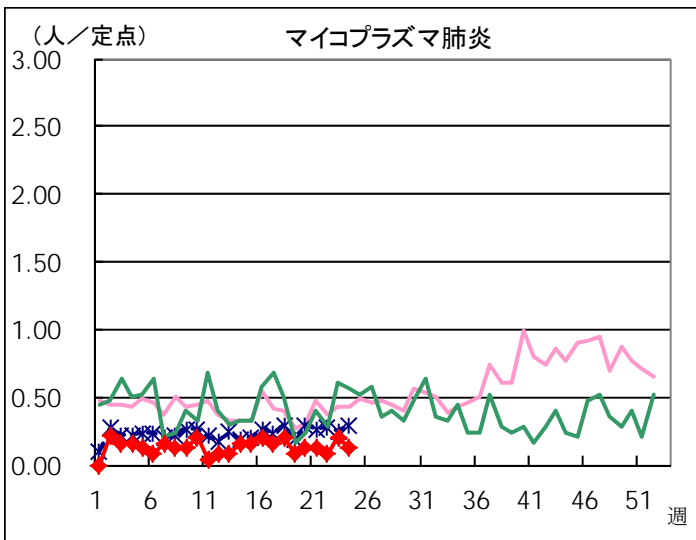
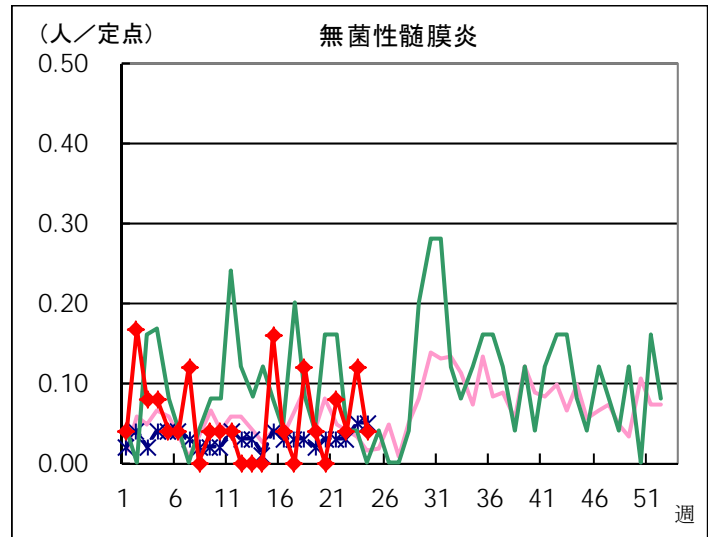
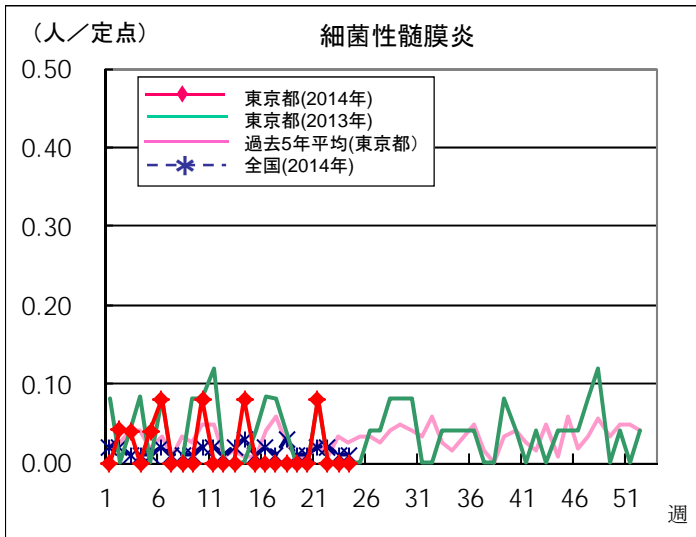
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



## 定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体
5/28	ウイルス性髄膜炎	1M	咽頭拭い液 糞便	ライノウイルス
5/29	喘息様気管支炎	5M	咽頭拭い液	インフルエンザウイルス B型* ヒトメタニューモウイルス
5/30	手足口病	5M	咽頭拭い液	ライノウイルス
6/2	アデノウイルス感染症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
5/28	ヘルペス口内炎疑い	1	咽頭拭い液	ライノウイルス 単純ヘルペスウイルス1型
5/27	突発性発しん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
5/30	不明発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型
6/6	咽頭結膜熱	2	咽頭拭い液	アデノウイルス ライノウイルス
6/5	インフルエンザ疑い	2	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB群
6/2	伝染性紅斑疑い	5	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
6/6	急性咽頭炎	8	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA群4型
記載なし	感染性胃腸炎	32	糞便	サルモネラ O9群
6/2	咽頭炎	35	咽頭拭い液	アデノウイルス
6/3	アデノウイルス感染症	記載なし	咽頭拭い液	ライノウイルス
6/2	感染性胃腸炎	記載なし	直腸拭い液	A群ロタウイルス

\* 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09 <sup>*1</sup>	AH1亜型	AH3亜型	B型
23週				1
2013-2014年 シーズン累計 <sup>*2</sup>	162		59	187

\*1 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とする。

\*2 2013-2014年シーズンの開始は第36週(2013年9月2日～)



## 病原体検出情報【週別】

検出病原体	2014年							
	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週	23週
アデノウイルス	2	4	2	1	3	4	3	2
ライノウイルス	7	10	4	1	5	5	4	6
ポリオウイルス								
コクサッキーウイルスA群								1
コクサッキーウイルスB群								1
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
単純ヘルペスウイルス		1	1		1			1
水痘・帯状疱疹ウイルス					1			
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		6	4	1	7	4	1	3
EBウイルス	2	1				4	2	
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス					3	1	1	
麻疹ウイルス					1			
風疹ウイルス						1		
ヒトパルボウイルスB19	1		1		1			1
RSウイルス								
ノロウイルス	1		1		1		2	
ロタウイルス		1					1	1
インフルエンザウイルスAH1亜型								
インフルエンザウイルスAH3亜型			1	1				
インフルエンザウイルスB型	7	7	3	2	5	1	1	1
インフルエンザウイルスAH1pdm09					1			
デングウイルス(抗体を含む)						2		
その他のウイルス	3	4	2		2		2	1
その他の病原体					2			1

# 病原体検出情報【臨床診断名別】

2014年16週～2014年23週

	インフル エンザ	上気道 炎	下気道 炎	感染性 胃腸炎	無菌性 髄膜炎	咽頭結 膜熱	流行性 角結膜炎	ヘルパ ンギーナ	手足口 病	伝染性 紅斑	不明発 しん症	流行性 耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数	42	16	32	31	32	11	6	1	3	5	38	12	2			28
アデノウイルス	1	2	5	3		3	2				2	1				2
ライノウイルス	2	4	10		2	4		1	1		10	2				6
ポリオウイルス																
コクサッキーウイルスA群		1														
コクサッキーウイルスB群	1															
エコーウイルス																
エンテロウイルス71																
その他のエンテロウイルス																
単純ヘルペスウイルス					1	1					1					1
水痘・帯状疱疹ウイルス													1			
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1	1				1			1		19		1			2
EBウイルス		1					1				1	4				2
サイトメガロウイルス																
ムンプスウイルス					1							4				
麻疹ウイルス											1					
風しんウイルス											1					
ヒトパルボウイルスB19										4						
RSウイルス																
ノロウイルス				5												
ロタウイルス				3												
インフルエンザウイルスAH1亜型																
インフルエンザウイルスAH3亜型	2															
インフルエンザウイルスB型	23		2				1				1					
インフルエンザウイルスAH1pdm09	1															
デングウイルス(抗体を含む)																2
その他のウイルス		3	10	1												
その他の病原体				3												

## 月報告 定点把握対象疾患 報告数 2014年5月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり	合計	定点当たり	報告医療機関数	定点医療機関数
性感染症	性器クラミジア感染症	男	115	2.13	225	4.17	54	55
		女	110	2.04				
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	74	1.37	110	2.04		
		女	36	0.67				
	尖圭コンジローマ	男	42	0.78	64	1.19		
		女	22	0.41				
	淋菌感染症	男	78	1.44	125	2.31		
		女	47	0.87				
	膣トリコモナス症 *1	男			16	0.30		
		女	16	0.30				
梅毒様疾患	男	7	0.13	13	0.24			
	女	6	0.11					
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	男	38	1.52	75	3.00	25	25
		女	37	1.48				
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	男	10	0.40	16	0.64		
		女	6	0.24				
	薬剤耐性緑膿菌感染症	男	1	0.04	2	0.08		
		女	1	0.04				
薬剤耐性アシネトバクター感染症 *2	男							
	女							

2014/5/12

\*1 性感染症定点から報告される『膣トリコモナス症』とは、原虫の一種である膣トリコモナス(*Trichomonas vaginalis*)による疾患を指し、女性の膣、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

\*2 2011年2月1日より新たに指定された。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症・基幹) 報告数【年齢階級別】2014年5月

男										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							3			
1～4歳							3	4		
5～9歳								1		
10～14歳							1			
15～19歳	2			1			1			
20～24歳	17	1	4	12						
25～29歳	17	10	11	11						
30～34歳	28	12	9	18		2				
35～39歳	19	17	4	12		2				
40～44歳	10	11	7	8		2	1			
45～49歳	10	8	1	7			1			
50～54歳	2	6	4	3						
55～59歳	4	5	1	3			1			
60～64歳	5	1	1	2			2			
65～69歳		3		1		1	4	1		
70歳～	1						21	4	1	
合計	115	74	42	78		7	38	10	1	
先月数	93	52	48	75		8	37	5	1	
増減数	22	22	-6	3		-1	1	5		

女										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							15			
1～4歳							2	3		
5～9歳							1			
10～14歳							1			
15～19歳	12	1		1						
20～24歳	30	6	8	9	3	4				
25～29歳	28	8	4	9	4	1				
30～34歳	12	5	7	6	2	1	2			
35～39歳	14	6	1	6	1					
40～44歳	7	4	1	6	3		1			
45～49歳	6			5						
50～54歳	1	3		3	1		1	1	1	
55～59歳		1	1	1	1					
60～64歳				1	1		2			
65～69歳							3			
70歳～		2					9	2		
合計	110	36	22	47	16	6	37	6	1	
先月数	65	32	22	9	17	5	37	5		
増減数	45	4		38	-1	1		1	1	

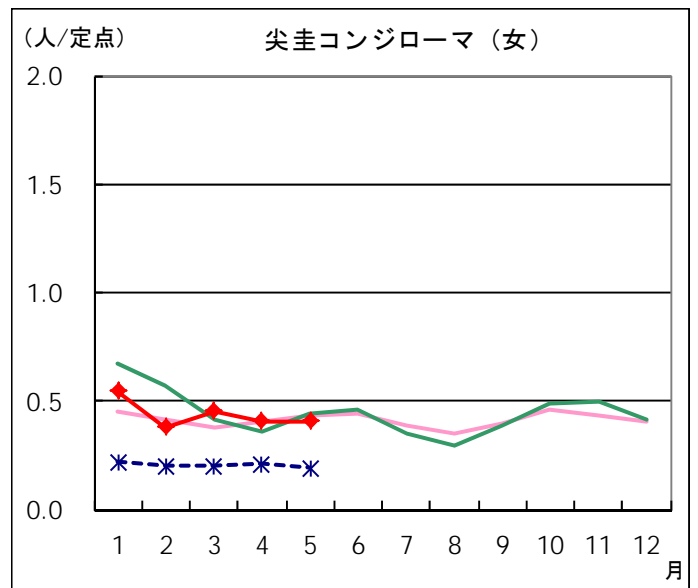
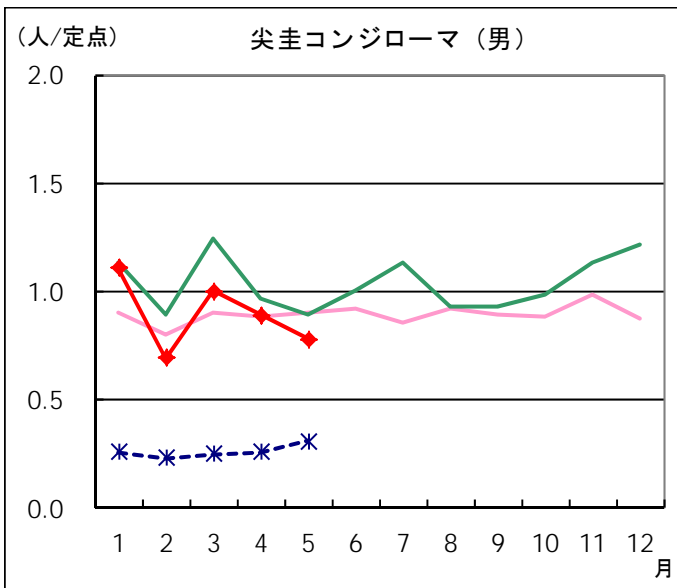
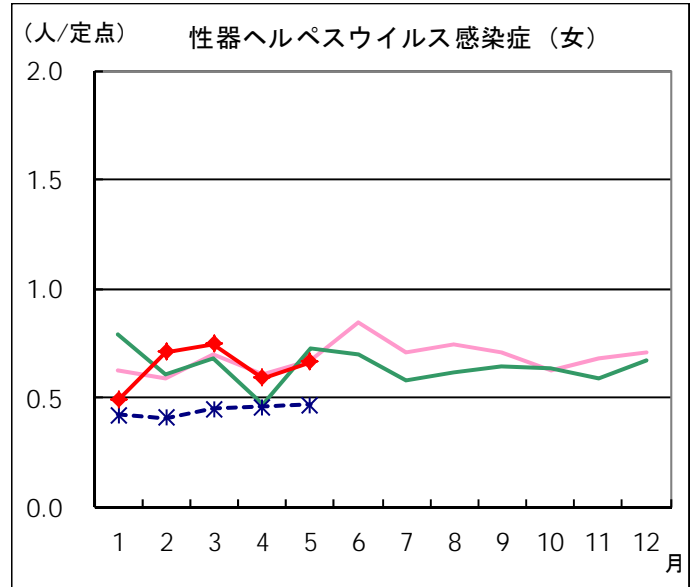
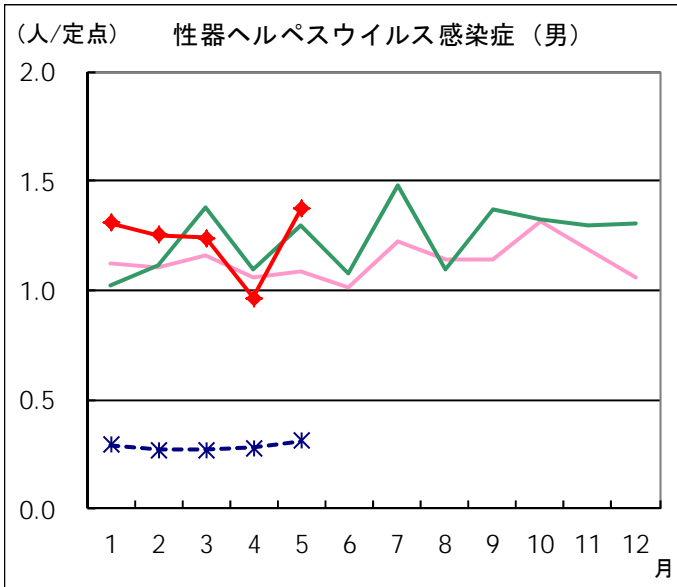
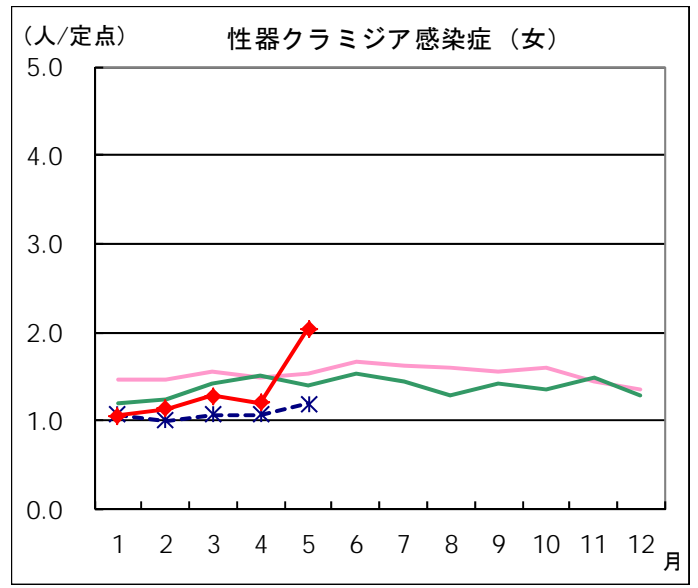
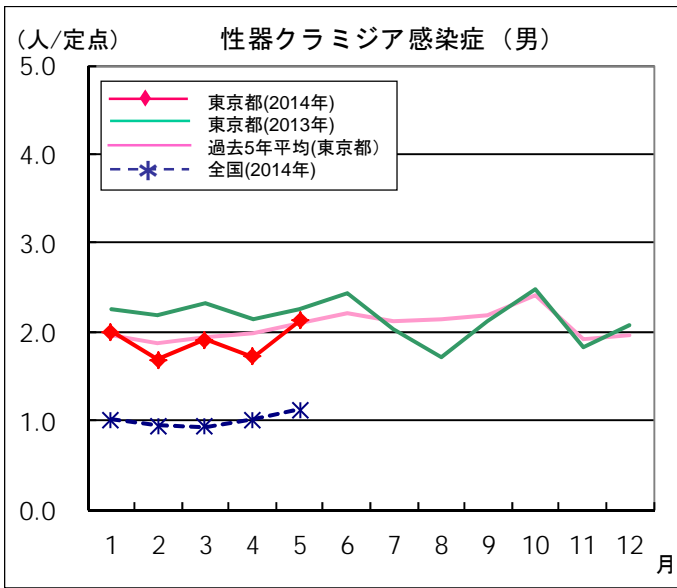
月報告 定点把握対象疾患(性感染症)報告数【保健所別】 2014年5月

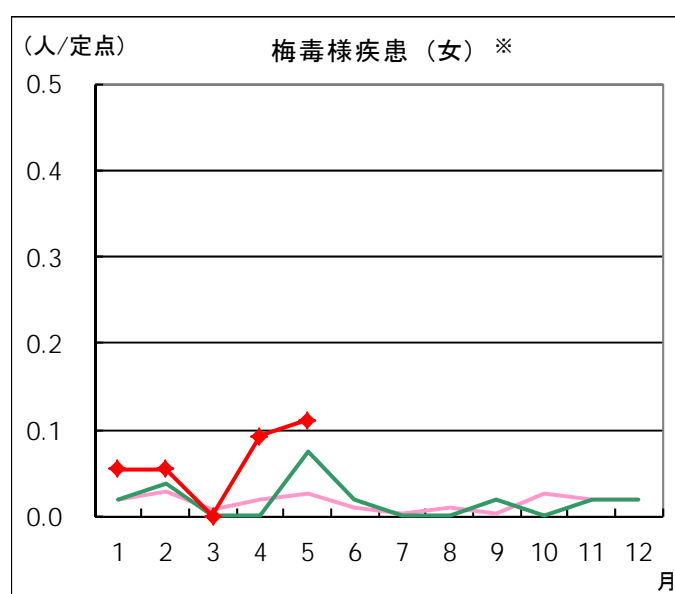
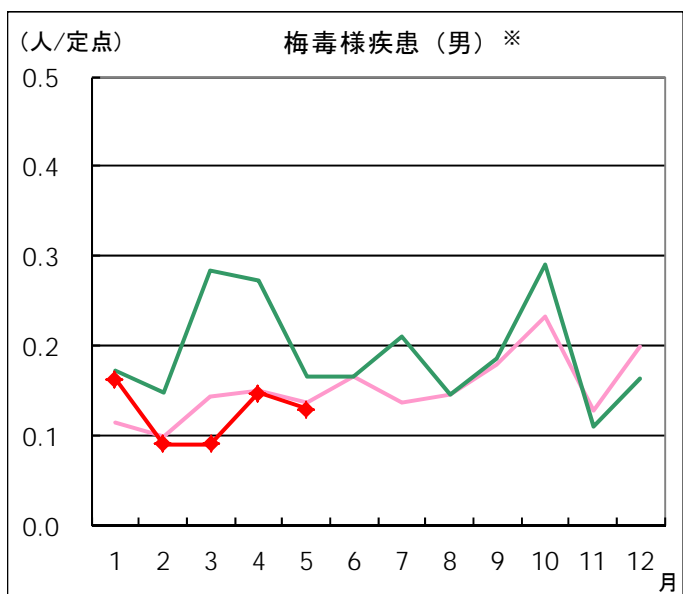
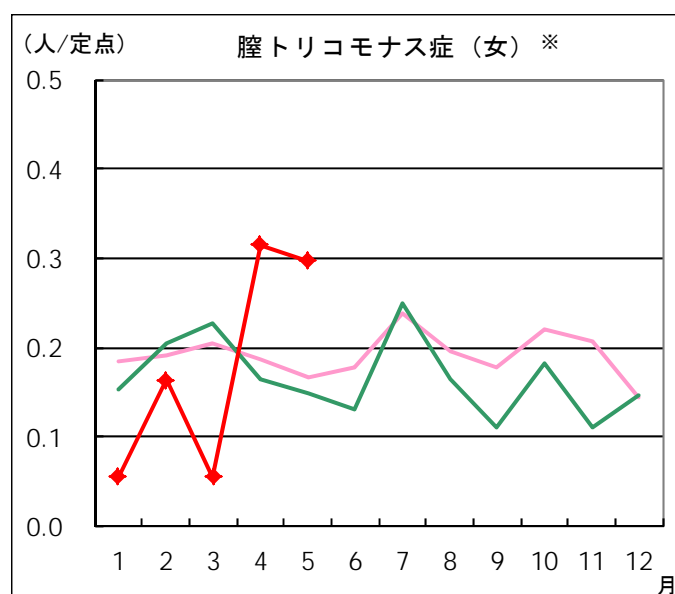
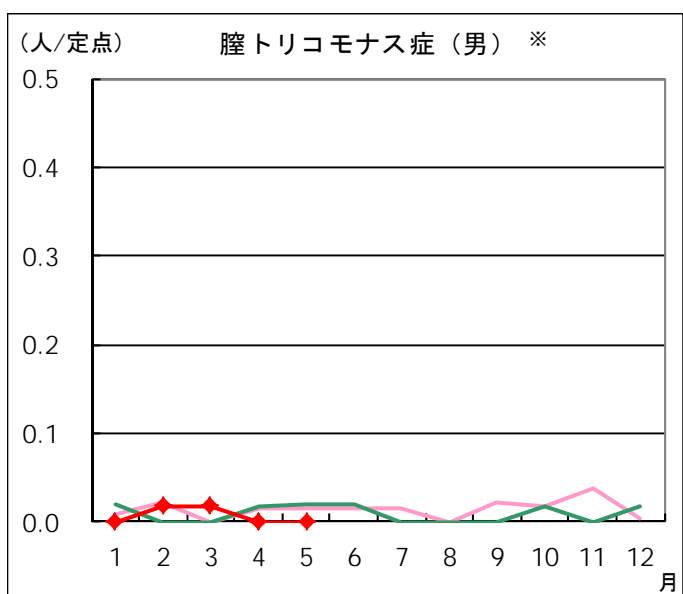
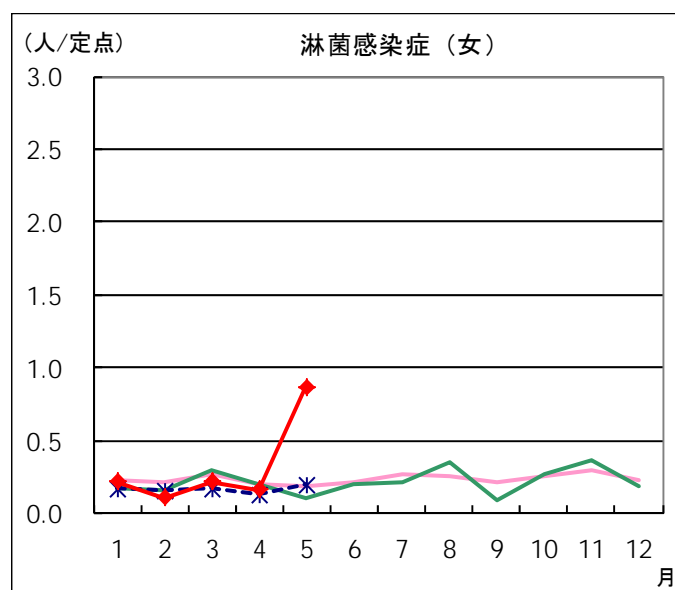
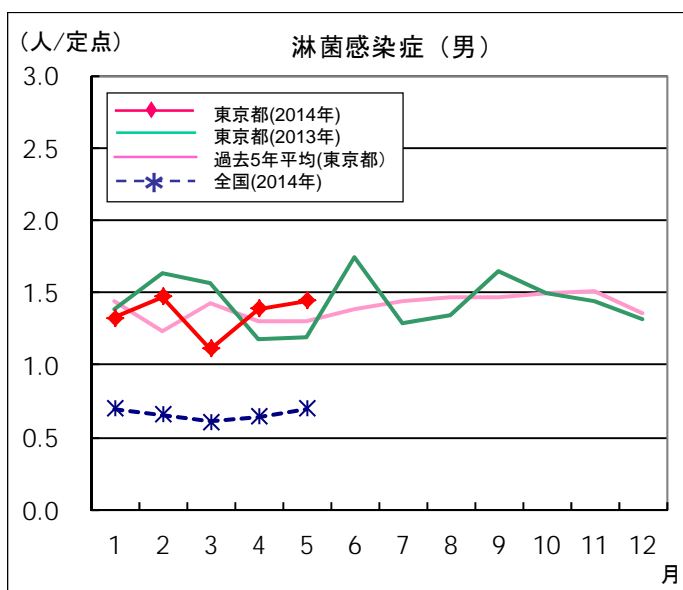
男								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	総計
千代田	2	12	1	3	9			25
中央区	3	9	4		3			16
みなと	2	6	30	10	6			52
新宿区	7	27	19	20	23		5	94
文京	1	6	2	1	6			15
台東	2				5			5
墨田区	2	1	2					3
江東区	2	15	9		8		2	34
品川区	1	6	1	5	3			15
大田区	2	7			2			9
渋谷区	4	4	2	1	1			8
中野区	2	3	1		2			6
杉並	2	1			2			3
池袋	3	11	3	1	7			22
北区	1	1		1				2
荒川区	1							
板橋区	2	2			1			3
足立	2							
江戸川	2	3						3
八王子市	4							
町田市	1							
多摩立川	2							
多摩府中	3	1						1
多摩小平	1							
合計	54	115	74	42	78		7	316
定点当たり		2.13	1.37	0.78	1.44		0.13	5.85

女								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	総計
千代田	2	1						1
中央区	3		2					2
みなと	2	6	4	4			5	19
新宿区	7	5	4	3	5	1		18
文京	1							
台東	2	34	2	3	37	9		85
墨田区	2		2					2
江東区	2	1						1
品川区	1							
大田区	2	11						11
渋谷区	4	5	7	2	1		1	16
中野区	2			1				1
杉並	2			1				1
池袋	3	14	5	2	1	1		23
北区	1							
荒川区	1	3	1	1				5
板橋区	2	4	1					5
足立	2	5			1			6
江戸川	2	6	2	4		1		13
八王子市	4	4	1					5
町田市	1	2	4			2		8
多摩立川	2	8	1		2	1		12
多摩府中	3							
多摩小平	1	1		1		1		3
合計	54	110	36	22	47	16	6	237
定点当たり		2.04	0.67	0.41	0.87	0.30	0.11	4.39

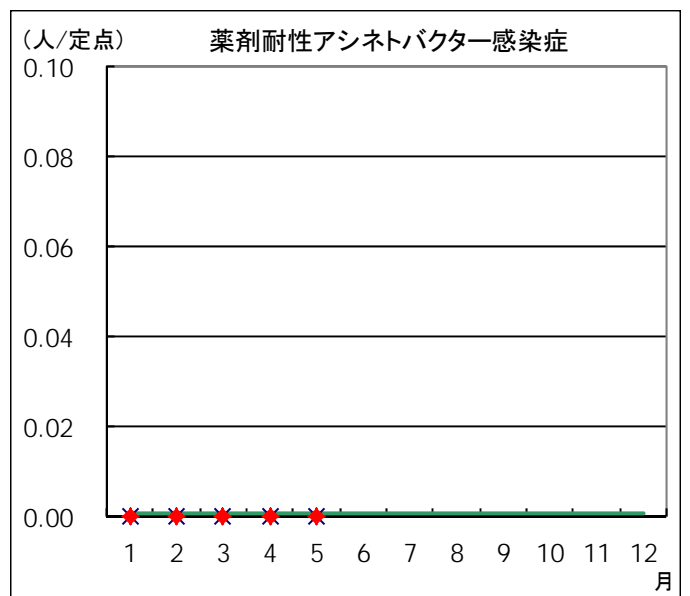
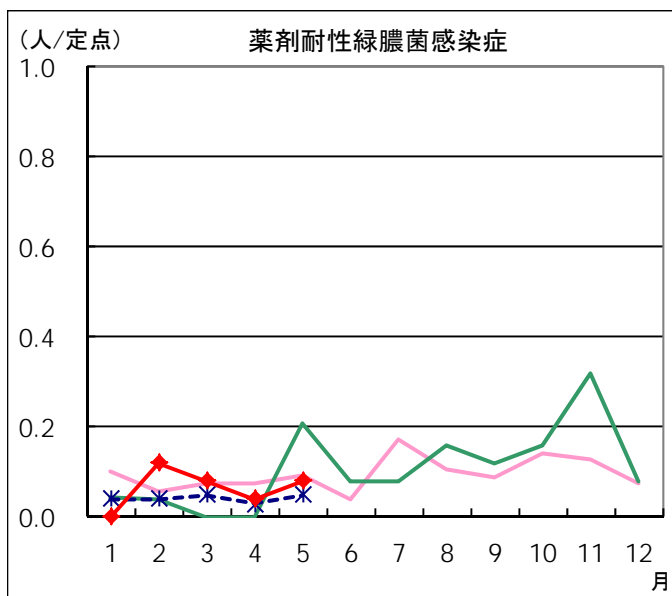
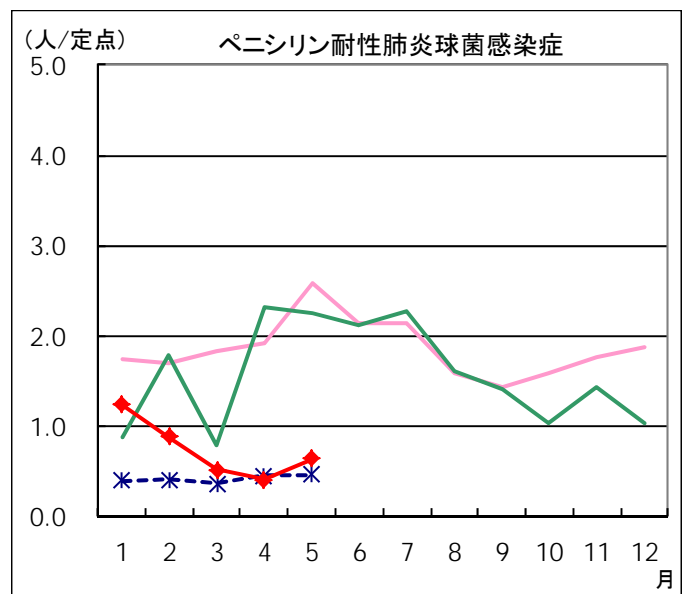
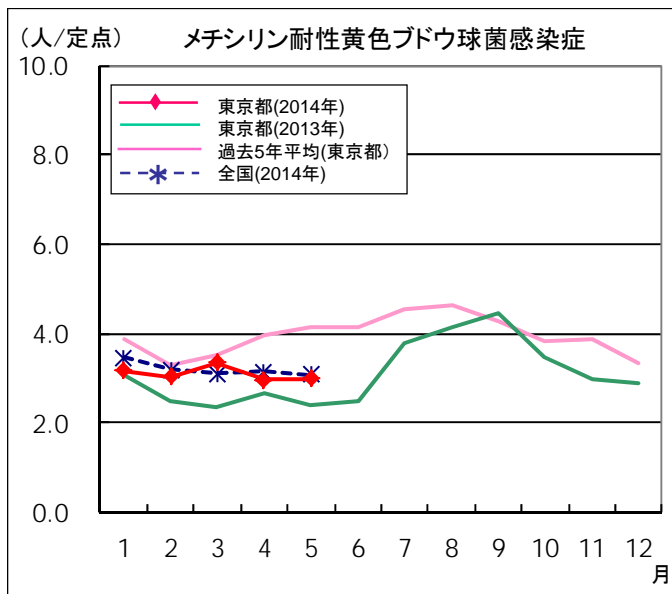
# 月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2014年5月現在

## ◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点





## 月報告 病原体検出情報

受付日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体
5/12	外陰ヘルペス疑い	16	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス1型
5/21	尿道炎	20	男	尿	クラミジア・トラコマチス
5/7	尿道炎	22	男	尿	クラミジア・トラコマチス
5/14	尿道炎	22	男	尿	クラミジア・トラコマチス
5/14	尿道炎	22	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	クラミジア・トラコマチス
5/28	淋菌性尿道炎	23	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
5/7	尿道炎	24	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
5/7	陰茎コンジローマ	26	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス6型 ヒトパピローマウイルス90型
5/14	尿道炎	26	男	尿	クラミジア・トラコマチス
5/28	陰茎コンジローマ	27	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス6型
5/28	淋菌性尿道炎	29	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
5/7	尿道炎	30	男	尿	クラミジア・トラコマチス
5/14	陰茎ヘルペス	31	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス1型
5/23	尿道炎	31	男	尿	淋菌
5/7	陰茎ヘルペス	34	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス1型
5/21	尿道炎	35	男	尿	クラミジア・トラコマチス
5/21	尿道炎	36	男	尿	クラミジア・トラコマチス
5/28	陰茎ヘルペス	41	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス2型
5/28	陰茎ヘルペス	41	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス2型
5/14	尿道炎	42	男	尿	淋菌
5/14	尿道炎	43	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
5/14	淋菌性尿道炎	43	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
5/30	コンジローマ	52	男	コンジローマ患部生検	ヒトパピローマウイルス11型
5/28	陰茎ヘルペス	記載なし	記載なし	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス2型

## <感染症豆知識>

### 性感染症ネットワーク

「ネットワーク」には、通信網、コンピュータ・ネットワーク、人や組織のつながりを作るソーシャル・ネットワークといろいろあるが、「性感染症ネットワーク」ともなると、感染を一举に拡大しかねないという困った話である。

「カレシの 元カノの 元カレを、知っていますか」という衝撃的なポスターを覚えておられるだろうか。

全国各地の学校で性の健康教育を担当する機会のある筆者は、「性感染症ネットワーク」を理解してもらおうと、数百人の生徒が居並ぶ体育館で次のようなパフォーマンスをすることが多い。まず、おもむろに生徒の間に入り込んで行って3人と握手をする。「今、僕と握手をした方は、まずは起立してから周りの3人を選んで握手をしてください。そして、同じことを繰り返して欲しい」と。3の累乗で、握手の輪が広がっていく。5巡目には200を、7巡目には2000を超えるのだから会場内はあっという間に全員が起立することになる。その直後に、「実は」と重々しい表情でこう続ける。「クラミジアに感染している僕が3人とセックスをしたと仮定した時、凄まじい勢いで性感染症ネットワークが作られることが理解できたと思う」と。もちろん、握手で感染が広がることはないと説明するわけだが、コンドームを使わない、検査や治療に無関心だと、このような「性感染症ネットワーク」があっという間に作られてしまうことを生徒たちには知らせたいのだ。

不特定多数とのセックスがハイリスクであることは言うまでもないが、ステディな関係が安全であるとも限らない。過去1年間の性感染症に罹患した大学生に性交相手の数を尋ねたところ、女子大生の約6割が1人と答えたとの研究報告がある。1人と回答した男性は13%に過ぎなかったわけだから、「愛している」という言葉で性感染症を予防できるわけではない。

「みんなで作ろう、友達輪、作っちゃいけないクラミジアの輪」。

(文責：一般社団法人日本家族計画協会専務理事、  
家族計画研究センター所長 北村邦夫)